

Q<sub>2</sub>

## 抗がん剤治療は 何のために行うのですか？

抗がん剤治療の目的は一言で言うと、「がん細胞の増殖を妨害する」ということです。実際には個々の患者さんや抗がん剤の内容により、その効果がどこまで期待できるかによって、具体的な目的が定まります。

具体的な目的は、①根治を目指す、②延命を目指す、③症状の緩和を目指す——の大きく3つに分けられます。

①は、抗がん剤投与を行うことでがん細胞をほぼ死滅させ、根治が期待できる場合です。この場合は目的が根治ですから、抗がん剤による副作用が少々つらくてもある程度許容する必要があります。

②の場合は、抗がん剤による根治は難しいが、がん細胞の増殖を程よく抑えて、抗がん剤治療をやらない場合よりも長生きすることが主な目的となります。この場合はがんを持ったままうまく共存する必要があります。根治が難しいため、抗がん剤治療はあまり無理をせずより長く継続する方がメリットが大きくなります（結果的に根治に近い状態になることもゼロではありません）。

③の場合には、がんの進行を抑えて症状を緩和することが第一の

目的となりますが、結果的に延命が図れることもあります。

ご自分が受けられる抗がん剤治療の目的がこのどれに当てはまるかを自覚することで、治療に対してより前向きに取り組むことができるようになりますし、目的がはっきりしていれば「やめ時」を的確に判断することもできます。治療開始前の方はもちろんのこと、現在治療中の方も、ご自分の抗がん剤治療の目的が何なのかを今一度、しっかりとお考えになることをお勧めします。（陶山浩一）

